

みどり山防災ニュース

わがまちの防災を語ろう



三輪緑山自治会自主防災隊

発行：三輪緑山自治会自主防災隊編集委員会
三輪緑山3-1-13 ☎044-987-7495

地域社会とのつながり

情報・広報班 副隊長 仲澤孝次

地域社会におけるつながり、結びつきといったコミュニティ機能は、住民同士の支え合いや危険要因の除去、注意喚起等、災害だけでなく犯罪や福祉、教育、環境等の様々な問題を解決する際に、その役割を果たしてきました。

しかしながら、現代社会では住民の生活様式の多様化、少子高齢化社会の進展、さらには核家族化、単身世帯の増加にみられる世帯構成の変化等、様々な要因によって、かつての「向こう三軒両隣」という地縁、血縁によって構成されていた親密な人間関係が崩壊し、「隣は何をする人ぞ」といった言葉に象徴されるよう、地域社会とのつながり、近隣住民との結びつきが希薄になりつつあります。当地三輪緑山は近隣の自治会とは異なり30年ほど前から新しく入居されたお隣同士で構成された新興住宅地のためか地域コミュニティ機能に格差が見られました。しかし、頻発する自然災害や凶悪な犯罪等の多発による地域生活への不安が高まるなか、住民の地域・近隣とのつながり、結びつきの必要性が再認識され、地域コミュニティの自発的な取組みが進められるようになってきています。地域コミュニティの崩壊は地域の活力だけでなく、地域の安心・安全を脅かす原因となることから、自主防災動をむしろコミュニティ維持・復活の重要な切り口と位置づける積極的な視点が必要となります。

こうした取組みの推進は、防災をはじめとする地域の安心・安全な暮らしのために重要なことであり、今後各地で地域住民の創意工夫による主体的な活動がますます求められます。三輪緑山自治会自主防災隊は地域コミュニティを応援しています。

情報・広報班の主な役割

1. 平常時は、ワークショップ・ホームページ・広報紙より、みなさんの防災意識を高める活動



近隣人との会話



ワークショップ



自治会ホームページ



広報紙/防災ニュース

2. 災害時に自治会集会所で災害対策本部を立ち上げて地域内の被害状況等の収集やその対応と住民への情報伝達



災害対策本部(自治会集会所)



被害状況の確認



迅速な情報提供



的確な情報を住民へ

大きな地震による被害があったらご近所で助け合い、被害状況を自治会集会所災害対策本部へ伝えてください。自主防災隊でできることを対応いたします。三輪緑山自治会は大規模な自治会です。今の自主防災隊は人手が足りません。このままでは発災時の活動が十分できないと思われます。発災時には下記のお手伝いできおる方のご協力をお願いいたします。発災時には自治会集会所の災害対策本部へお声がけください。

- ① 労力や時間の提供
- ② 救援物資や復旧資機材の提供
- ③ 一時避難所等場所の提供
- ④ 専門知識や資機材の使い方の提供
- ⑤ 無線やインターネットなど通信技術の提供 ⑥被災支援ボランティア



平成28年度 自主防災隊活動報告

4月

- 年次総会(4/24)

10月

- 自治会班長のワークショップ(10/2)
テーマ「防災マップの使い方」「発災時の行動」
- 第2回 役員会(10/11)

5月

- 防災ニュース発行(第4号)
「災害時の備えをしっかりとしましょう!」
「避難について」



11月

- 自主防災隊訓練(11/13)
安否確認訓練
災害対策本部開設訓練
各班毎の活動訓練

6月

- 第1回 役員会(6/12)
- 自主防災隊についての学習会(6/19)
隊員対象のワークショップを開催

12月

- 救急救命講習会(12/3)
- 防災ニュース発行(第6号)
記事「防災訓練実施」「防災マニュアル」



7月

- スタンドパイプ消火器の操作訓練(7/1)
町田消防署による訓練と消火栓の実態を研修
- 町田市主催スタンドパイプ消火器の操作訓練参加(7/23)

1月

- どんど焼き(1/14)自治会主催応援
非常食の「炊き出し」
スタンドパイプ消火器による消火演習

8月

- 防災ニュース発行(第5号)
記事「避難誘導班の活動について」
「子ども達を地震から守るために」



2月

- 防災倉庫の整理(2/11)予定
- 防災ニュース発行(第7号)予定
「地域社会とのつながり」「活動報告」

9月

- 池袋防災館見学会(9/4)
防災館を見学し防災研修を受講

3月

- 三輪連合同防災訓練(3/12)予定
- 第3回 役員会(3/19)予定



防災豆知識

「緊急地震速報」ってどんな仕組み？
緊急地震速報(TV,携帯)は、最初に来た揺れの情報をもとに震源や規模を推定し、大きな揺れを出来るだけ早く伝えられます。震源に近い場所は速報が間に合わないことがあります。緊急地震速報発令時、「身の安全」を確認後、状況を見極めた上で行動しましょう。(広報まちだより抜粋)

編集後記

普段から気になる情報もこれから取り上げていきます。また、ワークショップ等でも皆さんと一緒に考えていきます。そして、防災訓練は「緊急災害時」に「心の備え」のための大切な体験訓練です。いざ!という時に慌てない為の準備です。防災関連の開催ご案内時は、是非、ご参加下さい。